

「ガバナー補佐として」

国際ロータリー第2640地区IM5組

ガバナー補佐 辻 秀和 (河内長野ロータリークラブ)



近隣六クラブへ度重なる訪問をさせていただき各クラブの会長・幹事はじめ会員の皆様とより親しくなれましたことを、大変嬉しく存じます。

11月9日太子RC・富田林RC・富田林南RC のG公式訪問、11月15日大阪狭山RC・河内長野東RC・河内長野RCのG公式訪問が皆様方のご協力が無事終わりましたこと厚くお礼申し上げます。

さて、こんなに頻繁に他クラブへ **Make-up** させて頂きましたのは十数年ぶりの気がします。

私の**Home Club**は過去長年間出席率100%を維持していました。その当時を思い出しつつ、**Make-up**に行くことの「苦痛」がしだいに「快感」へと変化してゆきました。

それは、こんなに近隣クラブでありながら、各クラブともその「体質」・「特徴」の相違が見事に表れているのを再発見できて、その違いが大変新鮮に感じることができました。

当たり前のことかも知れませんが、日頃は**Home Club**の中でのいるとマンネリ化しがちで、**Old Fashion**になるかもしれません。機会をとらえ他クラブへ出かけて行き、そのクラブの新しい感覚を常に取り入れる気構えで、「良いところ」・「悪いところ」を参考に勉強する事が大切ではないのでしょうか。これが各自の**Home Club**のいろいろな意味での「向上」に役立つと思います。

近隣クラブへの **Make-up** できえこのようにたくさんの新発見があるのです。ましてや日本全国各地のクラブ、世界各国のクラブを訪問することによってのみ得られる素晴らしい仲間 (**Rotarian**)との出会い、ユニークなクラブ奉仕、効果的な奉仕プロジェクト、斬新な**R-活動**、未来を築く青少年奉仕、など計り知れない「未知なる遭遇」がそこにあるのです。「言語」に頼らず「肌でじかに感じる」ことがいかに重要であるかを**AG**としてクラブ訪問させていただき再認識できました。

残る任期も出来るだけ「**Make-up**」を心がけ、訪問させていただいたクラブをより深く理解することによって少しでも三軒**G**のお役に立てればと願います。